

# 病害虫発生予察情報

## 6月月報

令和元年 7月 26日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2019年 6月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	25.0	-0.5	17.6	1.4	20.8	0.3	106.5	357	31.6	60
中旬	26.4	0.6	16.6	-1.0	21.1	-0.2	70.0	116	69.2	173
下旬	26.2	0.1	19.7	0.9	22.4	0.3	52.0	77	29.4	106
平均	25.8	0.0	18.0	0.5	21.4	0.1				
合計							228.5	145	130.2	106

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

#### <天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬は高く、中・下旬は平年並だった。
- ◎ 降 水 量：上旬はかなり多く、中・下旬は平年並だった。
- ◎ 日照時間：上旬は少なく、中旬は多く、下旬は平年並だった。

上旬：期間の前半は移動性高気圧に覆われて晴れの日もあったが、後半は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。なお、関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる（速報値）。

中旬：高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、15日から16日にかけては低気圧からのびる前線が北上したため、雷を伴い大雨となった所があった。

下旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

田植えは6月上旬までに終了した。

#### (2) 野菜

果 菜 類：施設トマトの生育は順調であった。露地トマト、スイートコーン、エダマメは生育が遅れ、露地キュウリ、ナスでは草勢の低下が見られた。

葉根菜類：キャベツは上旬に生育が遅れ、後半は裂球が多く見られた。タマネギの収穫は順調に行われ、肥大は良好であった。

イモ類：ジャガイモの生育はおおむね順調であった。

## (3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるブドウ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下の通り。

開花始・盛はすべての品種で、平年並か1~2日遅かった。

巨 峰 : 開花始5月27日（±0日）、開花盛5月31日（+1日）

安芸クイーン : 開花始5月27日（±0日）、開花盛5月31日（+1日）

高 尾 : 開花始5月27日（+2日）、開花盛5月29日（+1日）

## (4) 茶樹

生育は概ね順調であった。

## 3 病害虫の発生概況

## (1) イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

## (2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
シンクイムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯における誘殺数は多かった。

## (3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

## (4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
----	-------	-----------

## トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

## キュウリ

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。

## ナス

アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。

## スイートコーン

アワノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

## ネギ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

## キャベツ

菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。

## (5) 花きの病害虫

## 花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

## (6) 植木の病害虫

## 街路樹など

チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

## (7) 島しょの病害虫

大 島：一部圃場において、アシタバでウスカワマイマイの発生がやや多かった。

三宅島：トマトでうどんこ病の発生が多かった。

八丈島：アシタバでマイマイ類、ミドリヒメヨコバイ、マイマイガ、葉枯病、レモンでにせ黄斑病、ハモグリガ類、カイガラムシ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

## 4 ミバエ類侵入警戒調査

設置場所	設置日*1	調査日*2	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
江東区	6月20日	7月18日	0	0
大田区	6月20日	7月18日	0	0
板橋区	6月20日	7月18日	0	0
新宿区	6月20日	7月18日	0	ミカンコミバエ種群 1
足立区	6月20日	7月18日	0	0
青梅市	6月10日	7月5日	0	0
八王子市	6月7日	7月9日	0	0
多摩市	6月7日	7月9日	0	0
国立市	6月7日	7月9日	0	0
東久留米市	6月13日	7月5日	0	0

\*1：誘引剤の設置日 \*2：誘殺数の調査日

注) ミカンコミバエ種群における発生確認調査の結果は下記のとおり

(植物防疫所ホームページ)

[http://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/attach/pdf/BD\\_Tokyo.pdf](http://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/attach/pdf/BD_Tokyo.pdf)

## 病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/>  
病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、  
防除のポイントなどをお知らせしています。